

第2回脱炭素先行地域に「加西市」が選定されました

加西市(市長:西村和平)は、環境省が実施した第2回脱炭素先行地域の公募に応募し、本日付でこの提案が選定されたことが環境省から公表されました。

具体的な内容は以下とおりになります。

■提案のタイトル

分かち合うみんなの電気 蓄電池のまち加西
～地産地消エネルギーで結ぶ集落の暮らし～

■共同提案者

プライムプラネット エナジー&ソリューションズ株式会社
(関西本社:加西市鎮岩町、代表取締役社長:好田博昭)

■提案事業の主な内容 (詳細は別紙のとおり)

サステナブルタウンの実現を目指している九会北部地区において、太陽光発電設備や蓄電池を導入するだけでなく、既存住宅を対象に断熱リフォーム等による省エネルギー化を実現することで、脱炭素化を促進すると同時に、年間を通じて暮らしやすい快適な住環境を創出します。

また、市内2エリア(九会北部地区・市役所周辺)にスマートグリッドを構築し、車載用バッテリーの定置型蓄電池への転用技術やエネルギーマネジメントシステムを導入することでエリア全体での自家消費率 70%以上を達成し、エネルギーの地産地消や蓄電池の有効利用による地域内循環経済を実現します。

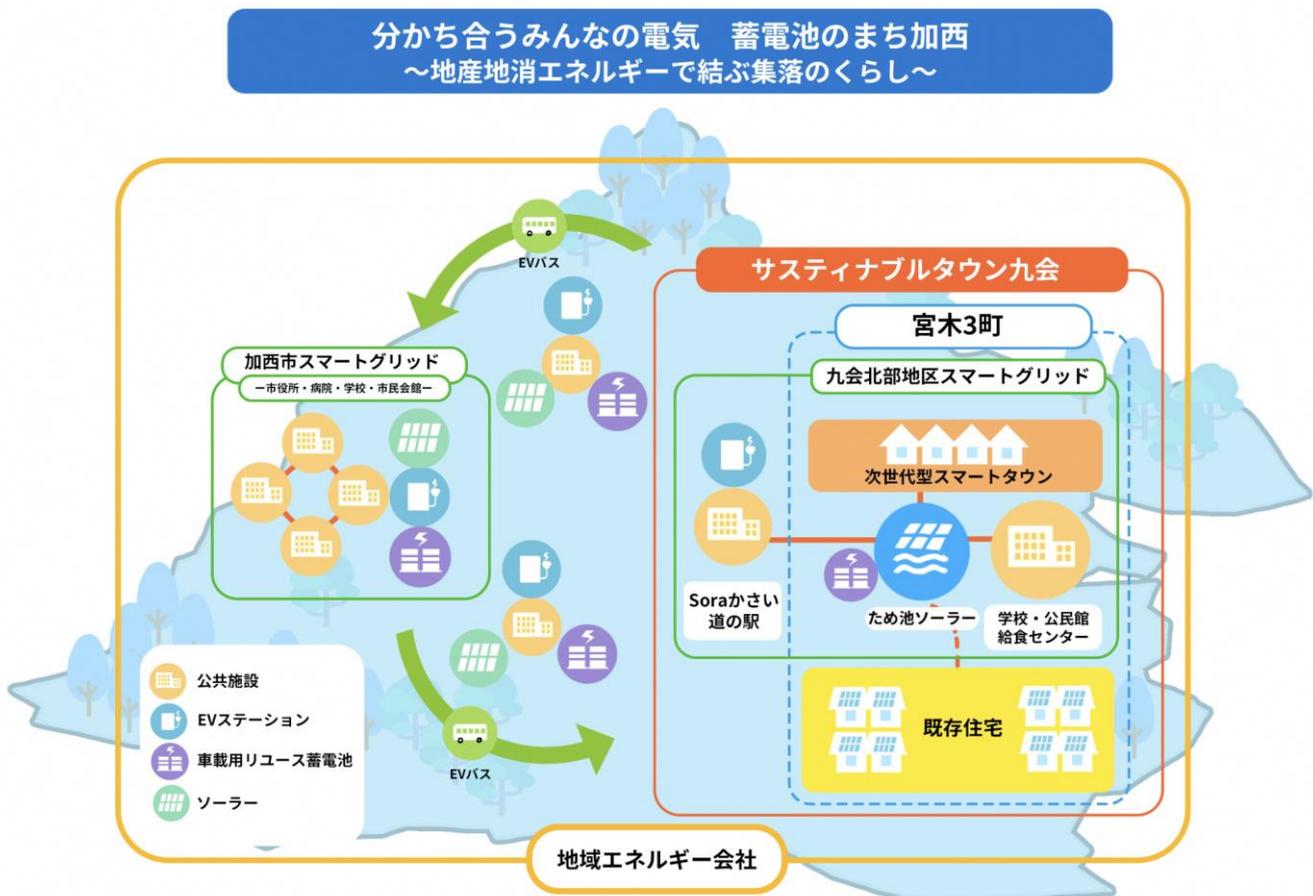
【参考】

○脱炭素先行地域とは

脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。

環境省は、脱炭素先行地域を少なくとも100か所を選定するとしています。

- ・第1回(令和4年4月26日公表) 採択26件(提案79件)
- ・第2回(令和4年11月1日公表) 採択20件(提案50件)



<問合先>

加西市生活環境部環境課 Tel0790-42-8716 担当:山下